

空き家をお持ちのみなさまへ

あなたの地域で空き家を探している人がいます。空き家バンクに登録をお願いします。

空き家を 探しています

地域に活気が
出てきました。
ありがとうございます！

探していた古民家、
売ってくださって
ありがとうございます！

住んでくれて
ありがとうございます！

空き家に若い家族が入り、
子どもたちの声が地域に活気を与えています！

空き家バンクへの登録をお願いします

自然に囲まれた暮らしを求めて、都会から地方へ移住する人が増えています。京都府内にも、地域の魅力を感じて、多くの人移住してきています。

お持ちの空き家を空き家バンクに登録いただければ、地域で物件を探している移住者とマッチングのお手伝いをいたします。地域活性化のためにも、ぜひ空き家バンクへの登録をご検討ください。

空き家バンク
登録まで



市町村窓口
に相談する



バンク登録申込書
を市町村に提出する



市町村職員による
物件確認・登録

(注) 市町村によって登録手順が異なるので、詳しくは市町村窓口にご相談ください。

空き家バンクに登録、活用（売却・賃貸）すれば…

家は活かされ、
老朽化をおさえられる。

人が住むことで管理が行き届き、犯罪やネズミ、虫の害を抑止できます。また、庭の草刈りなど管理の負担軽減も期待できます。

空き家を活用する
移住者が担い手に。
地域が活性化する。

過疎・高齢化が進む地域では、若い移住者が地域活動に参加することで、地域の活性化につながります。

売却収入、家賃収入
を見込んだ運営が！

買い手（借り手）が決まれば、売却収入、家賃収入が得られるほか、家財の撤去費用の支援を受けられる場合もあります。

移住者
目線

移住者にとって、田舎の古い民家は魅力いっぱい。空き家バンクのホームページで物件を調べて移住先を決めることも多いのです。



良い物件に出会って
感謝です！

※4ページ掲載のAさん宅を購入したご夫妻

空き家を放置し続けると…

ゴミ屋敷化や
ネズミ・病害虫の
すみかこ！



放火などの
犯罪を誘発！



倒壊で人にケガを
させる可能性が！



景観が悪化し
地域の生活環境
も悪く…！



！所有者の責任問題！

空き家を放置し続けると資産価値が下がるだけでなく、市町村から改修や除去などの指導・助言を受けることがあります。

こんな場合は どうすれば…？



Q1 お盆、正月には利用しているけど、これって空き家…？

A 田舎に一軒家をお持ちで、お盆や正月など年に1、2回帰省したり、法事のみだけ使いたいという方もおられます。そのような物件の場合には、空き家バンク登録をした上で、所有者が帰省したときに使う部屋を指定しておくことや、「離れ」に家財道具を置いておくことなど、予め条件を定めて貸し出すことも可能です。
また、法事などは集会所でできるように地域で取り決めている事例もありますので、併せて市町村や自治会にご相談されてはいかがでしょうか。



Q2 空き家バンクに登録したいけど、家財道具や仏壇がまだ残ってて…

A 家財道具や仏壇はいずれ動かさなければなりません。賃貸契約をしている方の中には、それらを一部屋にまとめておいて貸し出している方もおられます。
空き家バンクに登録し買い手(借り手)が決まれば、家財道具の撤去費用を一部助成する制度もありますので、市町村窓口に一度ご相談ください。



Q3 改修しないと住めない状態だけど、費用面が心配で…

A 空き家バンクに登録されている物件の多くは、改修せず現状のまま登録されています。所有者が買い手(借り手)が決まってから改修する場合がありますが、所有者ではなく、買い手(借り手)が負担して改修することがほとんどです。
また、京都府及び市町村では、一定の要件を満たせば改修費を助成する制度もあります。



Q4 相続手続きができていないけど…

A 相続は月日がたてば権利者が増え、権利調整に時間や手間を要する場合がありますので、早めに相続登記を済ませておきましょう。京都地方法務局などでは、司法書士による無料の登記相談やセミナーが開催されていますので、ご利用になってはいかがでしょうか。

空き家が活用できました！
 空き家バンクに登録してよかった！
 と喜びの所有者の方の声を紹介します。

体験談

悲観していた8年の空き家が 1ヶ月で売れました！

亀岡市に空き家をお持ちのAさん(京都市在住)

長年住んでいた家でしたが、仕事の都合で、京都市に引っ越すことになり空き家になりました。定期的に草刈りなどをしに帰ってはいましたが、8年くらい空き家の状態が続き、屋根は雨漏りし、畳等も朽ちてきました。仏壇も残ったままで、他の人に住んでもらうことは考えてもいませんでした。

そんな中、自治会の方に空き家バンクに登録することを薦められ、申し込んでみました。登録してから1ヶ月もしないうちに、内覧希望の方がいると連絡があり、市の職員が代わりに案内をしてくれました。あの悲惨な状況を見たら難しいだろうと諦めていましたが、意外にも購入したいとの返答で驚きました。その後は、地元の不動産屋さんを紹介いただき、丁寧に契約の仲介手続きをしてくれました。空き家改修の補助金が出る上に、改修後の家は、家の外観はそのままですが、内装は現代風の住みやすく温かいしつらえに変わっていました。

移住して来られたご夫婦は、地元の集まりにも積極的に参加され、すっかり地域に馴染んでいらっしやると聞いて安心しております。



▲人が住み始めれば、外観もいきいきして見えてくる。

After



Before



朽ちていた畳を換え、ガス台をIHにすれば快適！

活気を取り戻した家。 亡き父も喜んでいて…と感激！

舞鶴市に空き家をお持ちのBさん(舞鶴市在住)

実家は、平成27年から空き家の状態になっていました。広い庭の草刈りや草ひき、樹木の剪定はとても大変で、主人や姉と何とか頑張って手入れをしていました。しかし、人の住まなくなった家は、何とも寂しげで、訪れる度、まだまだ住める家なのにもったいないと思ひ始め、綺麗なうちに誰かに使ってもらえたら、家も、亡くなった父も喜ぶのではないかと姉たちと相談し、思い切って舞鶴市空き家情報バンクに登録することにしました。

登録して2年ほどが過ぎた頃、良いご縁と巡り会うことができました。手続きも市や不動産会社が仲介してくれたのでスムーズに契約できました。

片づけは家族総出でおこない、思い出話にも花が咲きました。机やソファ、冷蔵庫やタンス等、まだ使える家財の一部は移住者の方に使って頂けることになり、とても嬉しかったです。また、市から片づけの撤去費用の補助が出て、とても助かりました。

新しいご家族に住んで頂いている今、空き家のまま寂しくひっそりと佇んでいた実家は、かつての活気を取り戻しました。お墓参りに行った帰りに寄らせて頂くと、小さな子どもさん達が楽しそうに遊んでおられ、「家も庭も亡き父も喜んでいてなあ。住んで頂けて本当に良かった」と感激しました。

空き家バンクに登録し、このような良いご縁に巡り会えて本当に感謝しています。ありがとうございました。



▲子どもたちの声があふれ、家屋も地域も一気に活気づく。若い家族が家の歴史を受け継いでいく。



After

▲台所が明るくなると、家全体が暖かい雰囲気に包まれる。



Before



古い引き戸をサッシに換えたら外観が見違えるほど新しく！